

河童の便り

① 近況

② 高校時代、学生時代にやり残したこと

中20回生 染谷晃二郎

幹事ご苦労さま。

26回生 清河昌之

80歳になると記憶力と理解力の減退に困惑しています。ただし、好きな飲酒と短い泳ぎは楽しんでいきます。

28回生 武市一良

①週1回は青梅市の三慶病院のデイケアと月3回は訪問リハビリを自宅で受け、脳梗塞の後遺症対策に取り組み、今では杖でやっと歩いています。

②高校時代は背泳をやっていましたが、大学でバタフライに変わり、3年の大会で1分6秒を出しました。しかし、4年の6月に急性膵臓炎で武蔵小金井病院に40日間入院し、タイ

ムはそれ以上出ませんでした。

調布、昭島、青梅、武蔵村山の7つの中学校で美術教師と水泳部顧問を定年退職まで勤めました。組合は西多摩支部財政部長を2年、4支部の地区協議会の役員もやりました。定年前は村山地区協議会の副議長でした。

40歳代頃からマスターズ水泳大会に参加し、3回か4回、日本記録を出しました。最高は50Mバタフライ30秒02でした。これはもう今では日本記録ではありません。青梅水泳協会の20歳下の仲間が破ったのです。

私の趣味は海外旅行とスキーと読書です。海外スキーはイス、フランス、イタリア、オーストリア、フィンランド、カナダ、アメリカ、ニュージーランドに行きました。海外旅行はオーストラリア、南米、朝鮮以外はほとんど行きました。ひところスキューバダイビングに凝っていた時期もあったので、沖縄や南太平洋にもいろいろ出かけました。

読書は科学系のものが好きで、最近の小説類はほとんど読んでいません。



29回生 高橋正明

①昨年秋季頃から聴力やや低下。医師から「補聴器（左耳）で改善を図る。」との事で、現在耳慣らし使用中です。

今年後半は、「至大荘懇親会」、「OB戦」、「菊友会大会」、「忘年会」等、一游会、菊友会諸行事に参加し、元氣な皆さんとの交歓を楽しみにしています。

②あれをしたかった、これもやりたかった事が沢山あったはずだが今は何だったか、殆どは忘却の彼方に・・・！（健忘症？）

34回生 赤司久雄

①元気にしております。現在、菊友会会長、公益社団法人九段理事（至大荘・尽性園の保有・管理・運営）、九段中等教育学校・学校経営評議会会長（学校運営について助言する組織）を仰せつかっており、九段とは相変わらず緊密に関わっております。残念ながら最近は仲間の訃報も増えて来ました。

一游会メンバーも昨年从今年にかけて親しい仲間の訃報が相次ぎました。昨年8月に衣笠啓司さん（28回生）、本年2月に佐藤勝彦さん（33回生）、3月に小沼（宮島）和子さん（28回生）と続きましたので、5月13日夜一游会メンバー20名が集いお三方を偲ぶ会を開きました。50数年前の懐かしい現役時代の話で盛り上がりましたが、仲間に先立たれた悲しみも改めて募り、お互い健康にはくれぐれも留意しようと約束して散会しました。

35回生 渡辺 照正

①水棲生物

東伏見の早大プール。今はもうない。清流のように澄明で井戸水のように冷たい。一端の水深は2メートル超。ロープは張らず、言わば長辺五十メートルの長形の池だ。いつも混んでいるが、水中に顔を入れると、水棲の生き物のように、様々に踊る沢山の足が、プールの四方の端まで見える。体はすぐに冷えてくる。砂利の混じった打ちっぱなしのコンクリのプールサイドに身を横たえると、微量の不純物もない郊外の大気は、夏の陽光をじかに肌に伝える。体温は急速に回復する。徐に体をもたげ、再び水に入っていく。冷たさがいつそう増すが、水中は相変わらず壮観だ。夥しい下半身の群れが、仲間のように私を招いている。そのまま水中をひと掻き、ふた掻きすると、流れに向かうような抵抗がある。真下に方向を転じて底に達すると、突然の静寂に包まれる。池の広さを獲得した鯰がするように頭上を見上げると、足裏を見せながら水面からぶら下がる何本もの脚が、イソギンチャクのような。そして、きらきらと輝く水面の隙間から青空が高く貫き、「私は恵まれている」という思いが胸に広がる。ここに棲み続けてもいいと思うのだ。この清らかな水中に。

35回生 山田弘司

昨年10月から、紀尾井坂テーマス綜合法律事務所(電話03-3263-3824)で弁護士として働いています。分からないことだらけです。

本年2月に古希を迎えました。体力の衰えを痛切に感じています。これはもう先には戻らない衰えだと思っています。

36回生 酒井憲太郎

①5月14日(土) 10:00五反田桐谷斎場で開かれた中14回田中光常先輩の葬儀参列。動物写真の大家で、写真業界での先輩だった。生前パーティーでは、動物写真撮影の苦勞を楽しく語ってくれた。葬儀参列のトップに黒柳徹子とつとチャンが出席していた。パンダの付き合いらしい。納棺時挨拶で長女の主人が臨終報告をした、「九月に風呂で転倒した。入院したが肺炎にかかる。退院後肺炎が再発した」。合掌。

37回生 藤岡和男

①元気にやっております。今年も、50m自由形で、40秒を切るのが目標です。

43回生 高木昭美

①赤司さん（高15）が菊友会会長になった流れで、同会の理事を仰せつかりました。会報の編集委員をしています。仕事の方は、芝浦工大の講師3年目です。

②先輩諸氏のいうとおりに、もつと「練習」をしておけばよかった。今更ながらそう思います。



51回生 高田明夫

①九段北4丁目（最寄駅は市ヶ谷）の宝くじ販売会社に移って2年が経ちました。20代の人たちに交じって、九段中等プールの至大練に参加しています。水泳部以外の泳力課題助手の泳力改善には目を見張るものがあります。近くの代を中心に「かつおの会」で至大荘やBBQを楽しんでいます。もう20年になり、子連れから「老人と海」に近寄りつつあります。個人では、湘南OWSの10km完泳を目指して練習しています。先日は同期の藤井君と和歌山田辺でレースに参加し、水泳とグルメを堪能してきました。最後に一游会の幹事として、皆様のご協力に感謝しております。

②やり残したこと、ないです。学生にしかできないこと、つて良く考えるとほとんどないのでは？ちなみに、学生時代の最後に何とかやり遂げたのがヨーロッパ3週間で7国・都市を巡ったことです。イギリスの巴離脱が問題になっていますが、巴自体が幻想のような気がします。

55回生 深川英樹

一游会の皆様、ごぶさたをしています。昨秋より福岡にて二度目の単身赴任となりました。福岡はおいしいものも多く、泳いでも体重が増えそうです。

63回生 山口晃平

①近年は、プールの大会より、海でのレースのオープンウォーターにハマってます。海のコンディション・コースによって、2度と同じ状況には成り得ない一期一会的な感覚と、なによりもレース後の、ガラガラと照りつける太陽の下、海の家で飲む生ビールが格別だからです！

夏休み最後の日曜日に行われる、湘南オープンウォーター2・5kmは、一游会からの参加人数も毎年増えていますので、興味のある方は、連絡ください。

一緒に出ましょう！！

②数えられないくらい多くの事をやり残して、

今もなお、やり残している事が増え続ける日々…。

人生なんて、そんなもんなさ…。

だって、やり残しが無い完璧な人生なんてつまらない…。

63回生 南川卓也

①昨年に娘が産まれ、慌ただしい日々です。水泳の練習も減少気味です。

それでも夏のオープンウォーター大会にはなんとか参加して、昨年を上回る成績を目指そうと思います。

体力任せのレースはできないのでペース配分を考えた試合運びにしたいですね。

②ブレストがまだ苦手なので学生時代にもう少し真面目にやっておけばよかったと思います。

一游会をお手伝いしていたら菊友会にも関わることになりますます九段との絆を感じています。



66回生 吉見亜衣

①3年取得した育休、ラスト1年です。同志社大学の近く、京都府京田辺市に住んでいます。次の春、九段中等に戻ります。

②たぶん、3年生の夏は「水不足」で、10月まで入れたプールがその年は早々に閉まってしまい、16校種目以外の記録を測るチャンスがなくなってしまった：ような記憶がうつすらあります。同世代の皆さん、誰か覚えてますか？

75回生五月女万里子（旧姓 鈴木）

①今年の3月に第一子長女を出産しました。生後1ヶ月から使える swimmy という浮き輪で、早速お風呂場で泳いでます。もう少し大きくなったら、プールでのびのび泳がせたいなと思います。

パパ・ママになった同期も多いので、今度集まった時には、育児話したいです。

78回生 中村萌

①昨年までと変わらず、仕事・趣味で充実しています。栄養士として事業所を束ね、日々スキルアップを目指しています。海活動はダイビングのほか、ドルフィンスイムも始めました！ 毎日楽しく過ごしていきたいと思います。

②社会人になってからダイビングやスキンを始めました。もし、こんなに夢中になるのがわかっていたのであれば、競泳だけでなくしなやかな泳ぎも身につけておけばよかった…。今になって思うことです。